								43 1 3	3 1247111		,, ₁ -, ,	7 12 2 2 1
科目名	法	規∙検	渣	I								
科目名(英)												
単位数	2	2単位		時間数		30時間		担当者		†	杉本 ፤	成
実施年度	20	23年度	Ę	実施時期		通年	;	担当者実務網	経験 自	動車販売店	にて整	備士として勤務
対象学科•学年	国際	自動車	整備和	———— 斗3年								
授業概要	等につ の概要	いて受け	る。 自 た上で	動車整備士として関	関係法令 必要な「	を理解する/ 道路運送車	ため、 両法	自動車整備士 「道路運送車	技能検定制	削度のあらまし	、自動車	種税・保険」「運転」 車に対する法規制 保安基準の細目を
授業形態	講義:	0	演	習: 3	実習:		実技	₹:	* :	主たる形態	:0	その他:△
	言語 知的 情報 技能	運動 態度 技能 意欲				1		目標	Į			
	0 0			道路運送車両の係	呆安基準	≛を理解し、検	食査σ)合格判断がて	ごきる 。			
学習目標	0 0			道路運送車両法を	を理解し	、事業場運営	営に必	要な条件を説	明できる。			
(到達目標)			<u> </u>									
テキスト・教材 参考図書	法令	教材∙令	ὶ和4年	手度版								
	回数			授業項	目・内容	容				授業外	学修指	示
	1~3 道路	運送車両	iの保好	足基準(用語の定義	ま、長さ、	幅及び高さ)			教科書の記	亥当範囲を事	前に読ん	っ でおくこと。
	3~5 道路		iの保証	安基準(最低地上高	5、車両約	総重量、軸重	、輪石	5 重)	教科書の記	 	前に読ん	,でおくこと。
	6~8 道路	 }運送車両	 jの保録	安基準(安定性、最	小回転	 半径)			教科書の記	 	前に読ん	
	9~1 道路	 }運送車両	 jの保す	マ基準(原動機、動	力伝達物	装置)			教科書の記	 亥当範囲を事	前に読ん	,でおくこと。
	12~ 14 道路	 }運送車両	 jの保3	安基準(走行装置等	F、操縦3	 装置)			教科書の記	 亥当範囲を事育	前に読ん	いでおくこと。
		———— }運送車両	 jの保3	マ基準(かじ取り装	置、施錠				教科書の記	亥当範囲を事	前に読ん	」でおくこと。
	10	 }運送車両	 jの保3	安基準(制動装置、	緩衝装置	置、燃料装置	、電流	気装置)	教科書の記	亥当範囲を事	前に読ん	,でおくこと。
授業計画	0.1	 }運送車両	 jの保3	₹基準(車枠および	車体 強	鱼度・リヤオー	-/ \ /\	ング)	教科書の記	亥当範囲を事	前に読ん	,でおくこと。
	225.	 }運送車両	 jの保3	マ基準(車枠および	車体 種		車体表	表示)	教科書の記	亥当範囲を事	前に読ん	」でおくこと。
	0.5	 }運送車両	 jの保録	足基準(巻込防止装	を を を を を を を を を を を を を を を を を を を	入防止装置)			教科書の記	亥当範囲を事	前に読ん	
	07	 }運送車両	 ī法(登	録、検査、整備事業	集)				教科書の記	亥当範囲を事	前に読ん	いでおくこと。
	30											
	講姿勢	(質問、)	居眠り	度テストを5回9 り)を評価。以上 「覧に則り行う。	を下記					5。(3)平常	点とし	で、出席率、受
評価方法				言語	情報	知的技能	能	運動技能	態度•意	欲その	他	評価割合
		定期詞	試験	()	0						60%
		理解度·	テスト	. ()	0						20%
		平常	:点						0			20%
履修上の注意												

科目名	ガ	<i>ハ</i> リ:	ン:	I)	ノジン								
科目名(英)													
単位数		4単位	Ī.		時間数		60時間		担当者			小金丸	. 清
実施年度	20	23年	- 度		実施時期	1	通年		担当者実務組	経験 自	動車	販売店にて塾	整備士として勤務
対象学科・学年	国際	自動	車整	備和	43年	•				·			
授業概要	機関以 環境仍	人外の重 発全や3	動力》 安全性	原をも 生の糸	った自動車が短	期間でー 自動車整備	気にシェア	を拡え	くすることはなく	、依然として	でエンシ	ジンを点検·整(ている。しかし内燃 備する頻度は高い。 斗・潤滑剤における構
授業形態	講義:	С)	演	習:	実習:		実	支:	*	主た	る形態:○	その他:△
	言語 知的 情報 技能	運動 技能	態度 意欲	その他					目標	Ę			
	0 0				ガソリンエンジ	ンの燃度	焼により排り	出さは	1るガスの発 <i>生</i>	_{生メカニズ}	ムおよ	び低減方法	を説明できる。
学習目標	0 0				エンジン本体の	の構造や	機能につい	ハて	学び、各部位の	の特徴につ	ついて	説明できる。	
(到達目標)	0 0				潤滑∙冷却・吸	排気装置	置の構造や	5作月	月について学び	バ、各部位	の特征	数を説明でき	る。
	0				電子制御装置	してンサ	ナ、アクチュ	エー	·タおよびECU	の機能等	を学び	、各制御方法	去を説明できる。
	0 0				燃料や潤滑剤	の性質に	こついて学	び、	取り扱い方法	等が説明	できる	0	
テキスト・教材 参考図書		ガソリ ノート			車 エンジン約 ート)	編							
	回数				授業項	頁目•内:	容				ž	受業外学修	指示
	1~4 ガン	リンエ	こンジ	ンの	燃焼方式およ	び熱効率	区、平均有:	効圧	力等の性能	教科書の	該当範	囲を事前に読	んでおくこと。
	5~11 ガン	リンエ	ンジ	シの	燃焼過程、ノッ	ッキングま	 3よび排出	ガス	と低減方法	教科書の	該当範	囲を事前に読	んでおくこと。
	12~ エン	ジンオ	★体(か各:	 部位における棒		 能および作	動		教科書の	該当節	囲を事前に読	
	27~ 押報				機能および油							囲を事前に読	
	28 /三/	印装置	にお	ける	機能およびファ	アンの駆動	動制御と点	検		教科書の	該当範	囲を事前に読	んでおくこと。
	04	非気に	おけ	る体	積効率および	 充填効率	三向上のた	めの	 装置	教科書の	該当範	囲を事前に読	んでおくこと。
1 alle = 1	00	子制御	装置	にお	ける各センサ	の構造及	び機能			教科書の	該当範	囲を事前に読	んでおくこと。
授業計画	43~ 電子	子制御	装置	にお	: ける各アクチ <u>:</u>	ュエータの	の構造及び	機能		教科書の	該当範	囲を事前に読	んでおくこと。
	49~ 電子	子制御	装置	のE	CUによる燃料	噴射の基	本および	補正	制御	教科書の	該当範	囲を事前に読	んでおくこと。
	53~ 電子	产制御	装置	のE	CUによる点火	時期制御	『の基本お	よび	補正制御	教科書の	該当範	囲を事前に読	んでおくこと。
	59~ 燃米	斗であん	るガ	ソリン	vの基材および	、性質、潤	滑剤の機	能		教科書の	該当範	囲を事前に読	んでおくこと。
	言:質問	引居	眠り	等)」	以上を下記の 覧に則り行う)観点•害)。	割合で評値	西す	る。				数•積極度合(発
評価方法		TO 27				語情報	知的技	能	運動技能	態度∙意	欲	その他	評価割合
		理解				0	0						60%
		"	常点							0			40%

科目名	3	ジーも	ヹル	ノエ	ンジン							
科目名(英)	·											
単位数		3単	<u></u>		時間数		45時間		担当者			 ·暁
実施年度		2023			実施時期	B			担当者実務	経験 自動道		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
対象学科・学年	15	国際自動				4			2-120		-7470741 - 13	
对象于科"于牛								- 145 14			1 =0 ± 2 × ±	
授業概要	圧 な	E燃料噴射 どの特徴	装置。 、構成	と大型 た、作重	自動車に採用さ	れているユ	-ニット・イン	ジェク	タ式高圧燃料噴	射装置や公害を	防止するための	あるコモンレール式高 排気ガス後処理装置 法を学習し整備士と
授業形態	講	義:	0	演	習:	実習:		実	技:	※ 主 <i>t</i> :	-る形態:○	その他:△
	言語 情報	知的 運動技能 技能		その他					目標	5		
	0	0								ンジン本体の構造・機		
学習目標	0	0			説明することができる	5.						装置と比べたときの利点を
(到達目標)	0	0			テムが低減できる有	害物質と構造	・機能について	説明す	ることができる。			装置のDPFと尿素SCRシス
	0	0			るのか説明することが	ができる。						ブロー・プラグに使い分けされ
	0	0								2器(スモーク・メータ)0 リンクさせることができ		制定手順の確認を行い説明
テキスト・教材 参考図書					車教科書 車教科書							
	回数				授業)	項目•内	容				授業外学修	指示
	1~2	ジーゼル	・エン	ジンの	燃焼方式及びバ	、 ルブ・タイ	ミング			教科書の該当筆	通要を事前に読ん	んでおくこと
	3~4	ジーゼル	・エン:	ジンの	性能-熱効率、平		力、仕事率	、エン	 ジンの諸損失	教科書の該当筆	 西囲を事前に読ん	 んでおくこと
	5~7	ジーゼル 試験	・エン	ジンの	性能-体積効率。	と充填効率	、空気過剰	率、コ	こンジンの出力	教科書の該当筆	囲を事前に読ん	んでおくこと
	8~9		・エン	ジンの	燃焼-燃焼過程、	、ジーゼル	・ノック、排と	出ガス		教科書の該当軍	囲を事前に読ん	 んでおくこと
	10~ 12	エンジンス構、バルフ			と機能−シリンダ・	ピストン及	びピストン・	リング	、バランサ機	教科書の該当軍	囲を事前に読ん	 んでおくこと
	13~									教科書の該当筆	囲を事前に読ん	んでおくこと
	15~ 18	冷却装置	ーファン	ン・クラ	ラッチ、電動ファン	√の構造・機	態能			教科書の該当筆	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	んでおくこと
授業計画	19~ 22	燃料装置	-Jモ	ンレー	・ル式高圧燃料噴	射装置の	構造∙機能			教科書の該当軍	囲を事前に読ん	んでおくこと
	23~ 26	燃料装置	-ユニ	ット・イ	「ンジェクタ式高原	王燃料噴射	装置の構造	告・機能	能	教科書の該当軍	- 随囲を事前に読ん	んでおくこと
	27~ 30	吸排気装	置-タ	ーボ・	チャージャと排気	ガス後処理	理装置の構	造∙機	能	教科書の該当軍	が 囲を事前に読ん	んでおくこと
	31~ 34	予熱装置	一電熱	対イン	/テーク・エア・ ヒ -	ータとグロ-	ー・プラグの	構造	•機能	教科書の該当軍	が 囲を事前に読ん	んでおくこと
	35~ 36	燃料-軽減	曲の性	質						教科書の該当軍	が囲を事前に読 <i>/</i>	んでおくこと
	37~ 40				ーオパシメータ() 能と点検手順	光透過式黑	煙測定器)	、黒烛	湮測定器(ス	教科書の該当軍	が 囲を事前に読ん	んでおくこと
	41~ 45	エンジンの	の点検	₹整備	一自己診断シス-	テムを活用	した点検方	法		教科書の該当筆	通要を事前に読ん	んでおくこと
	質問	引•居眠!)等)	以上	毎の理解度テ を下記の観点 覧に則り行う。	!・割合で			として・学科ノ	┴ ′ ートの完成度	∶•出席回数•	積極度合(発言・
評価方法					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
		理角	解度 7	テスト		0	0					60%
		_	平常	点						0		40%
履修上の注意												

科目名	,	シャシ	,									
科目名(英)												
単位数		4単位	立		時間数		60時間		担当者		下村、 '	
——————— 実施年度		2023	年度		実施時期	ı	通年		担当者実務	経験 自動	車販売店にて	整備士として勤務
対象学科・学年		国際自動]車割	を備利	L 斗3年							
授業概要	0	り車両より)も電	子制		ものが多っ	くなったたと	か複	雑になってきて	ている。それら	に対応するため	短についても従来 め自動車の構造、 学習する。
授業形態	講	義: (0	演	習:	実習:		実	<u>技</u> :	※ 主	こる形態:〇	その他: △
	言語 情報	知的 運動 技能		その他			<u>'</u>		目標	<u> </u>		
	0	0			動力伝達装置に	ついて構	造、機能を	学習	しエンジンからの	の動力がタイヤロ	に伝わるまでを記	说明できる。
学習目標	0	0			緩衝装置の各種	重類毎の特	持徴、部品レ	イア	ウト、使用車両を	を説明できる。		
(到達目標)	0	0			操舵装置の油圧	E式および	電気式の構	造、	作動を国家試験	食レベルの問題	を解答することか	「できる。
	0	0			制動装置の種類	夏を各方式	毎に学習し	ABS	S, TCSの構造。	、作動を説明で	きる。	
テキスト・教材 参考図書	=	二級自動]車シ	ノヤシ	,							
	回数				授業項	頁目·内	容				授業外学修	指示
	1~4	自動車総	論(自	動車	に求められる性能	能の進歩)				教科書の該当	範囲を事前に読	んでおくこと。
	5~11	動力伝達	装置	(走行	性能と走行抵抗、	、走行性能	生曲線図)			教科書の該当	範囲を事前に読	んでおくこと。
	12~	動力伝達	装置	(変速	装置・デファレンジ	シャルギヤ	アと差動制限	装置	置)	教科書の該当	範囲を事前に読	んでおくこと。
	27~ 28	アクスル・	サス	ペンシ		・サスペン	ションの種类	頂と物	 寺徴)	教科書の該当	 範囲を事前に読	 んでおくこと。
	29~ 30	ステアリン	ノグ装	置(タ	イヤとコーナリン・	グの関係))			教科書の該当	 範囲を事前に読	んでおくこと。
	31~ 35	ステアリン	ノグ装	置(ス	 .テアリングの種類	質と特徴)				教科書の該当	 範囲を事前に読	 んでおくこと。
	36~ 42	タイヤ・ホ	イー	ル(ター	 イヤの構造・ホイ-	ールの構造	造)			教科書の該当	 範囲を事前に読	んでおくこと。
授業計画	43~ 48	ホイール・	・アラ・	イメン	ト(ホイール・アラ	イメントの	役割とその	種類)	教科書の該当	 範囲を事前に読	 んでおくこと。
	49~ 52	ブレーキ	装置(ABS	 とTRCの構造とii	由圧回路の	の作動)			教科書の該当	 範囲を事前に読	
	53~ 58	ブレーキ乳	装置(エア・	 油圧、フル・エア(の構造と作	 作動)			教科書の該当	 範囲を事前に読	んでおくこと。
	59~ 60	フレームル	ひびけ	・デー	 (ボデー構造によ	る車の種	類と特色)			教科書の該当	 範囲を事前に読	んでおくこと。
	講領	姿勢(質問	問、原	居眠り	度テストを5回り)を評価。以 5覧に則り行う	上を下記					 (3)平常点と	して、出席率、受
評価方法					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
		定	期詞	式験		0	0					60%
		/]	トテノ	スト		0	0					20%
		2	平常	点						0		20%
履修上の注意	#	寺に苦手	意語	戦を持	持ちやすい科目	 目である	ため、理	解を	確認しなが	ら授業を受け	ー <u>ーー</u> る。	

									• • •			
科目名		電装										
科目名(英)	Е	Electrica	al e	quip	oment							
単位数		3単位	立		時間数		45時間		担当者		杉本、	 花嶌
実施年度		20234	年度		実施時期	Я	通年		担当者実務網	圣験 自動車	重販売店にて	を備士として勤務
対象学科・学年	Œ	国際自動	車	を備 種	———— 斗3年					'		
授業概要	近ま	i未来にお す。他にも を備作業の	いて 、 自 機会	も自動 動車の も多く	車の原動力であ の高品質化、高紹	5る、エンシ 吸化に伴い 得が必須	ジンの電気装 ヽ、オートエア となってきて	置に	ついて、構造と やSRSエアバッ	制御内容及び点 ウなどの安全装	検整備の知識 置が標準装備	付では、現在、そして 習得を目的とし行い され、それらに関する ・警報装置等の構造・
授業形態	講	義: ()	演	習:	実習:		実	技:	※ 主た	:る形態:○	その他:△
	言語 情報	知的 運動 技能							目標	į		
	0	0			バッテリの比重	、容量、起	足電力が電解	液温	度によってどの	様に変化するか	説明できる。	
学習目標	0	0			始動装置の回	転原理及(び出力特性、	充電	浅置の発電原理	里及び制御内容	を説明できる。	
(到達目標)	0	0			点火装置の点	火原理及(び点火時期制	削御0	の必要性、スパー	-ク・プラグの熱	価について説明	できる。
	0	0			空気調和装置	こおける冷	ネサイクル	構造	とオートエアコン	制御を理解した	上で、整備時の	留意点を説明できる
	0	0			安全装置のSF	RSエアバッ	ック、シートベ	ルト	の構造を理解し	た上で、整備時	の留意点を説明	 できる。
テキスト・教材 参考図書	=	ニ級ガソリ ニ級自動¤ ニ科ノート	車シー	ャシ	エンジン編ト)							
	回数				授業	項目•内	容				授業外学修	指示
	1~6	半導体の 回路構成			E流回路·定電日	E回路·増	福回路·発振	回路	・論理回路の	教科書の該当	節囲を事前に読	んでおくこと。
	7~9				構造機能及び」	良否判定	方法			教科書の該当館	節囲を事前に読	んでおくこと。
	10~	松 動 生 署	の機	能及7	バスタータの出力	性性 分	一般占烯及パ	生能	テストの方法	教科書の該当	節囲を事前に読	んでおくこと。
	15 16~								性能試験の方	教科書の該当	範囲を事前に読	んでおくこと。
	21 22~	法			144.45 - 1.8 - 1	4.44-				教科書の該当録	節囲を事前に詩	んでおくこと。
	25				:構造及び点火							
	26~ 29	計器の種	親 と1	作期店	(理、言報装直)、	- おける値	別言	とリス	トーニング・ラン			
+œ ₩ ≘L idai	30~ 31	外部診断	乐器(スキ	ャン・ツール)の)概要と自	自動車の自	己診	断機能	教科書の該当館	節囲を事前に読	んでおくこと。
授業計画	32~ 35	空気調和	装置	におけ	る冷凍サイクル	横造とオ・	ートエアコン	制御.	及び整備方法	教科書の該当	節囲を事前に読	んでおくこと。
	36~ 37	電気装置	の配	線にお		の通信方法	法及び点検・	整備	i時の留意点	教科書の該当	節囲を事前に読	んでおくこと。
	38~		にお	けるS	RSエアバックと	シート・ベル	ルトの構成及	び整	を備方法と留意	教科書の該当	節囲を事前に読	んでおくこと。
	40 41~	点	Li L	2 2	ョン及びETG	への###	<u>.</u>			教科書の該当	範囲を事前に読	んでおくこと。
	42									教科書の該当	新囲を事前に詩	んでおくこと
	43~ 45	電気回路	にサ	ーキッ	ト・テスタが及ほ	ぎす影響と	オームの法則	則を月	用いた計算 	X17 E 07 IX 1		, o cos (CC)
	痩・	出席回数	故•雨	責極月		[問·居			試験を実施す 下記の観点			科ノートの完成
評価方法					言	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
		定	期詞	試験		0	0					60%
		理解	度	テスト		0	0					20%
		3	平常	点						0		20%
履修上の注意												

												-
科目名	;	就職	実剤	务Ⅱ								
科目名(英)												
単位数		2単	位		時間数		30時間		担当者		下村、	三浦
実施年度		2023	3年度		実施時期	ı	後期		担当者実務	経験 自動	車販売店にて	を備士として勤務
対象学科・学年	[国際自動	動車整	修備科	3年	·						
授業概要		カ者は、「 強い思いる	人生はを抱いて	思い指	描いて、そのビジ≡	ンに向け ち志を立て	て行動し続けることが大	ナるこ 切でま	とで現実となる」 あるため、志が立	と伝えています。	成長するために や学ぶ意味も自然	かにあります多くの成 は、まさにこのような かでしっかりと考える
授業形態	講	義:	0	演	習:	実習:		実	技:	※ 主	こる形態:〇	その他:△
	言語情報	知的 運							目標	Ę		
			0		自らの志につい	て考えるこ	ことの大切さ	を知り	り、自分の言葉で	伝えることができ	きる。	
学習目標			0		目標の大切さ、	志の大切る	さを知り、立 ⁻	てた志	に向け行動する	ることができる。		
(到達目標)												
テキスト・教材 参考図書	2	ブローバ	バルシ	ティス	ベンベーシック	Ⅱ(学	生用テキ	スト)				
	回数				授業項	頁目・内:	 容				授業外学修	指示
	1~2	第1講座	☑「グロ t何か。	コーバ	ルシティズンと志 ようにすれば志を	」 立てること	・ができるの:	<i>か</i> ∼				
	3~4	第1講座	॒፟「グロ	コーバ	ルシティズンと志							
	5~6	第2講座	∡ 「なt	ず志を	ようにすれば志を 立てることが大切	なのか	.m ceam	<i>/</i> J·(~				
	7~8	第2講座	「なt	ぜ志を:	日本の中の私。(立てることが大切	なのか」						
		~世界の 第3講座 ~私のi			日本の中の私。(る」	1)~						
		~私のi 第3講座										
	12	~私のi	過去·現	在・未								
授業計画	14	~「個」と	しての	伝える	力を高める(自分	の言葉で自	自分の思いと	考えを	を伝える)~			
	16	~「個」と	しての	伝える	」を学ぶ(1) 力を高める(自分	の言葉で自	自分の思いと	考えを	を伝える)~			
					」を学ぶ(2) ーション(勇気と思	いやりをも	って言葉のき	キャッラ	チボールを)~			
					」を学ぶ(2) ーション(勇気と思	いやりをも	って言葉のき	キャッラ	チボールを)~			
					:一度の人生に感 識に学ぶ〜	謝し、志高	高く生きる。					
	23~	第6講座	≦ 与え	られた		謝し、志高	高く生きる。					
	25~	第7講座	直自己	の大り	切さと責任を自覚							
	27~	第7講座	自己	の大り	日本の中の私。②	する						
	28				日本の中の私。② を受講して、私が!		与づいた"	- レ 尚	ラム.だこレ			
	30	あり時点		0116	文件して、仏が	&U/2CC	· x · > 0 · / _ C	-C,7				
	全師	寺間数0	D2/3!	以上(の出席にてRi	评価(合	格)とする	。出	席時間が不足	足している場か	今はD評価(7	「合格)とする。
評価方法					言	 語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
		ŀ	出席北	大況						0		100%
履修上の注意					,							

									(11.1	, IXAT =	11 1 20 7 7	(1/2/2/3
科目名	I	ンシ	ジン	整	備実習	П						
科目名(英)												
単位数		4単位	位		時間数	k	180時間	 ■	担当者	/]	金丸、杉本 三浦、西村	
実施年度	2	2023:	年度		実施時	期	通年		担当者実務	経験 自動車	販売店にて整	を備士として勤務
対象学科•学年	玉	際自動	車整	を備系 かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	43年	·						
授業概要	境(を(保全や: はじめ、	安全(測定	性なと機器!	:性能の維持による部品の	を図る自 良否判と	動車整備コ	トとし	て、ガソリンお	よびジーゼルコ るための操作技	ンジンの正確	る頻度は高い。環 経な分解組み立て 圧を使用するハイ
授業形態	講義	:		演	習:	実習:	0	実	技:	※ 主た	る形態:○	その他:△
		知的 運動 支能 技能	態度意欲	その他		•			目標			
		0			専用工具等	を使用し、	、ガソリンお	よび	ジーゼルエン	ジンの正確な分	解・組み立て	ができる。
学習目標		0 0			エンジンの各	部位につい	いて、測定機	器を係	使用した精密な源	側定による良否判	定ができる。	
(到達目標)	(0			オシロスコー	-プの操作	「方法に留	意し、	指定する電気	,回路の波形を	表示させること	とができる。
		0			測定機器を	使用し、名	トセンサー	類の原	点検及び良否	判断ができる。		
		0			高電圧が使	用されて	いる次世代	自動	車の整備モー	ドおよび基本塾	と 備が安全に	実施できる。
テキスト・教材 参考図書		級ガソ 習レポ		自動	車 エンジン	編						
	回数				授業	項目•戊]容				受業外学修	指示
	1~12 彗	整備要領	通書(:	 こ則っ	た正確なガン		ジンの分解			実習ノートの該	当範囲を事前に	 :読んでおくこと
	13~ ;	訓定機器	器を付	押し	た精密な測録	まと良否#	判定および	VVT#		実習ノートの該	当範囲を事前に	ニ読んでおくこと
	25~ 🛊				た正確なガン					実習ノートの該	当節囲を事前に	・読んでおくこと
	30				たジーゼルニ			· · · ·		実習ノートの該		
	\vdash	曼透探係	易試縣	険によ		 査及び高	 圧燃料噴身	寸装置	 置の概要	実習ノートの該	当範囲を事前に	 :読んでおくこと
		整備要領	領書(こ則っ	たジーゼルコ	ロンジンの	組み立て			実習ノートの該	当範囲を事前に	 :読んでおくこと
155 416 = 1 	73~ 84	トシロス	(]—	プの値	更用方法					実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
授業計画	85~ 96	トシロス	(]—	プを使	更用したエン:	ジンの測え	Ē			実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	97~ 108	トシロス	\	プを値	使用したエン?	ジンの測え	定故障診断			実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	109~ F		卸式力	ザソリ:	ンエンジンに	ついてエ	ンジンの3	要素の	の基本点検方	実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	T .		エンシ	ジンの	故障診断手	順と有効	な診断の進	態め方	ī	実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	133~ 144	ベンチェ	ンジ	ンを使	使用した不具	合故障診	:断			実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	145~ 156 F	IV•EV•	FCV	の構造	造の確認					実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	157~ 168 F	Ⅳ特有	の整	備技術	析(ブレーキフ	7ルード交	換、コンプ	レッシ	ョン点検等)	実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	^{169∼} 180 F	IV•EV0	の高電	電圧剖	『位の点検作	業方法				実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	積極 以上	参加等 を下記	≨) ¦の観	見点・沿	技テスト(3) 割合で評価 覧に則り行	する。	ポート(4) [:]	平常	点として・出原	· 常回数·意欲』	度合(発言、	質問、実習への
評価方法					1	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
	確	認テス	ト(筆	記•	実技)		0		0			40%
		実習	ョレオ	ポート	,					0		40%
		3	平常	点						0		20%
履修上の注意												

科目名	シュ	ャシ	′整	備	実習Ⅱ							
科目名(英)												
単位数		4単位	立		時間数		180時間	罰	担当者	/]	、金丸、杉本 下村、西村	
実施年度	20	234	丰度		実施時期	Ą	通年		担当者実務網	圣験 自動車	販売店にて整	発備士として勤務
対象学科・学年	国際	自動	車整	と備え	斗3年					·		
授業概要	点検・	整備に	こ対す クシャ	る重要を	要度は高い。二 『の脱着作業を	輪自動	車を含め安全	性や作	言頼性などを追え	及し性能の維持	と向上を図ってし	に運行させるための いかなければならな 食能を学ぶ事で故障
授業形態	講義:			演	習:	実習	P: 0	実	技:	※ 主た	る形態:〇	その他:△
	言語 知的情報 技能		態度意欲	その他				•	目標			
	0	0			マニュアル・トラ	ンスミ	ッション/オート	マチッ	/ク・トランスミッ?	ノョンの安全な脱	着作業ができる	5
学習目標	0	0			オートマチック・	トランス	スミッションの柞	構造∙亻	作動及び各機構	の制御について	学び、正確な分	解・組立ができる。
(到達目標)	0	0			パワーステアンリグ0)種類と	ヒェア・油圧ブレ	-キの柞	構造作動とアライメ	小の役割と調整	方法を理解する	b
	0	0			排気ブレーキの	構造作	作動と図面や電	[気回	路図の線の種類	頁・名称・用途や	図形の表し方を	理解する
	0	\bigcirc			二輪自動車の	動力伝達	達装置(クラッ	チ)の	正確な分解組み	立ておよび点検	むができる	
テキスト・教材 参考図書	二級	自動	·車・	シャ	ン、三級自動	車シ	ャシ					
	回数				授業	須目・	内容				授業外学修	指示
	1~15 受力	検査	、サー	-ビス ⁻	 マニュアル読み []]	取り、特	特殊工具の使用	用方法		実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	16∼ 30 FR≣	車のマ	ニュフ	アル・ト	・ランスミッション	の脱着	。 作業、構造の	確認		実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	01 -	重の才	ートマ	チック	フ・トランスミッシ	ョンの朋		きの確	認	実習ノートの該	 当範囲を事前に	読んでおくこと
	40	架整備	後の記	完成核	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ゾ良否等	 判定			実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	Ct	-トマチ	<u>-</u> ック・	トラン	· スミッションの 柿	造およ	び作動の確認	 진		実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	04	による	 5変速	制御	の必要性					実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
lest alle 2.1		対式パ	ワース	ステア	リングの構造お	よび作	動の確認			実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
授業計画	106~ 油月	E式パ	ワース	ステア	リングの構造お	よび作	動の確認			実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	121~ 三面	図か	ら立体	本図、	立体図から三面	図さくt	せいと、配膳図	の理	———————— 解	実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	136~ 補助	カブレ-	-+σ.)構造	および作動の確	認				実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	151~ 二輔	自動	車の	動力位		チ)の脱	記着・分解およ	び点検	€•良否判定	実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	^{166~} ホー	シング	ブを利	用し <i>†</i>	こブレーキ・ライ	ニングの	の脱着作業			実習ノートの該	当範囲を事前に	読んでおくこと
	積極参 以上を	加等 下記) の観	点:	技テスト(3) 割合で評価で 覧に則り行う	ける。	, ポート(4)	平常	点として・出席	蒂回数·意欲	隻合(発言、∫	質問、実習への
評価方法					言	語情報	報 知的技	支能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
	確認	テス	ト(筆	記•	実技)		0		0			40%
		実習	レオ	∜− ト						0		40%
		ম	F常 ,	点						0		20%
履修上の注意	_		_	_								

									界門	字仪林玍丄	科目切甲ス	学校 シラバス
科目名	Ī	電装	整值	備	習Ⅱ							
科目名(英)												
単位数		4単	位		時間数	t	180時間	l	担当者	/	、金丸、杉本 下村、西村	
実施年度		2023	4年度		実施時	期	通年		担当者実務網	経験 自動車	販売店にて整	発備士として勤務
対象学科•学年	3	国際自動	動車割	を備え	斗3年							
授業概要	書	す。本科 日得を目打 目する制作	目では 指します 即内容・	ま、外き す。ま <i>t</i> や点検	部診断器やサ- と、次世代自動	ーキット・テス]車が量産さ も理解を深	スタなどの故 れつつある めます。さら	障診 近年 には	断ツールの有効 においても、点 、近年ではほと	めな活用方法を ・整備頻度の高	学び、効率のほ いガソリン・エン	されるようになってい い故障診断技術の ジンの点火装置に 空気調和装置の冷
授業形態	講	義:		演 ³	習:	実習:	0	実	支:	※ 主た	:る形態:〇	その他:△
	言語情報	知的 運動技能 技能		その他			l.		目標			
		0 0)		点火装置につ	いて国家2	級レベルの	知識る	を習得し、専用ニ	エ具等を使用して	点火装置の点	 検ができる
学習目標		0 0			外部診断器の	機能及び有	有効性を理解	翼し、I	エンジンの状態	に応じた適切な排	 操作が行える	
(到達目標)		0 0			空気調和装置	これける冷	演サイクル	と構造			すえる	
		0 0			不具合を設定	した実車両	iを用いて、ト	ラン	フォープナー回り フォープナー回り	路の導通点検や	単体点検を行い	・ 、 故障診断ができる
		0 0				した実車両	iを用いて、オ	トーン	'回路の導通点	険や単体点検を	行い故障診断が	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
					_ _自動車 エ	ンジン編						
参考図書		E級・二 【習レオ			扁							
	回数		•			項目·内	 容				授業外学修:	 指示
	1~12	高雷圧名	発生原	理. 点	 火装置の種類	と点火時期	制御の必要	性		実習ノートの	該当節囲を事首	 前に読んでおくこと
	13~											
	24				価と着火性能							がに読んでおくこと
	25~ 36	点火装置	置の点	検基準	≝と点検時期、	点火装置の	点検方法			実習ノートの	該当範囲を事育	かに読んでおくこと
	37~ 48	外部診斷	断器の	有効性	挂と自動車の自	1己診断機能	Ė			実習ノートの	該当範囲を事育	かに読んでおくこと
	49~ 60	ダイアグ	ノーシ	ス・コー	ード(DTC)の相	既要と確認力	法			実習ノートの	該当範囲を事前	うに読んでおくこと
	61~ 72	外部診斷	断器の	故障診	診断機能活用プ	う法とエンジ	ン故障診断			実習ノートの	該当範囲を事前	前に読んでおくこと
	73~ 84	空気調和	印装置	の構成	大部品と冷凍サ	イクル及び	エアコン冷気	某の種	 重類	実習ノートの	該当範囲を事前	かに読んでおくこと
授業計画	85~	オートエ	アコン	に使用	 されるセンサ	と各種制御	 内容			実習ノートの	 該当範囲を事前	 前に読んでおくこと
	96 97~	冷棋量(の占給	75.7 戊 🛣	を填と各専用エ	目の場件が	5 注			実習ノートの	該当節囲を重す	がに読んでおくこと
	108											
	121	トランク	ナーフ・	ナー厄	路の正常時 <i>の</i>	軍止分布(り催認、実卑	上向に	て測定	実習ノートの	該当範囲を事用	がに読んでおくこと
	122~ 127	断線時位	の不具	合推定	こと単体点検の	方法、点検	時の留意点	į		実習ノートの	該当範囲を事育	かに読んでおくこと
	128~ 144	実車両に	こおける	る不具	合箇所の故障	診断				実習ノートの	該当範囲を事前	うに読んでおくこと
	145~ 156	ホーン回	路の〕	正常時	の電圧分布の	確認、実車	両にて測定			実習ノートの	該当範囲を事前	前に読んでおくこと
	157~ 169	断線時の	の不具	合推定	 ≧と単体点検 <i>の</i>		時の留意点	į		実習ノートの	該当範囲を事前	 前に読んでおくこと
	170~	実車両に	こおける	る不具	合箇所の故障	:診断				実習ノートの	該当範囲を事前	 前に読んでおくこと
	平常	記テス 常点とし	ト。2 .て出	実技 席回	テスト。3 実	『習レポー 合(発言・		民り等	等)以上を下	記の観点・割		
評価方法					1	語情報	知的技	能	運動技能	態度•意欲	その他	評価割合
	研	館認テク	くト(筆	記:	実技)		0		0			40%
			習レオ	ポート						0		40%
			平常	点						0		20%
履修上の注意					<u>'</u>							

	_								子仪林生工	付日割年)	ト学校 シラバ
科目名		自動.	車村	食査	作業						
科目名(英)											
単位数		1単	.位		時間数		60時間	担当者	f /	∖金丸、杉本 三浦、	
実施年度		2023	年度	:	実施時期	切	後期	担当者実務	経験 自動車	1販売店にて	を備士として勤務
村象学科•学年	<u> </u>	国際自動	動車割	垄備 和	¥3年				·		
授業概要	対 に	≝•高度イ □則った	比し、I 目視ま	自動車	車検査員による 検査機器によ	る検査のI る検査実	E確性及び重 習を通して検	要性は増々高	まっている。ここ、 、判定のための	では道路運	とりまく環境は煩 送車両の保安基差 屋、指定整備記録
授業形態	講	義:		演	習:	実習:	O 3	€技:	※ 主た	:る形態:〇	その他:△
	言語 情報	知的 運動技能 技能						目相	票		
		С)		車両(現車)	上自動車模	食査証を照らし	っ 合わせ、相違	がないか同一性	Łの検査がでる	き る。
学習目標		С)		点検作業要領	頃に則った	こ、目視による	もれの無い正	確な現車検査が	べきる。	
(到達目標)		C)		目視による車	画検査に	て保安基準	に適合している	か否かの判定が	ができる。	
		C)		各検査機器の	の特性を理	里解し、検査を	機器による正確	な検査および半	定ができる。	
		0			検査の結果を	生指定整備	#記録簿に正	しく記入できる	0		
テキスト・教材 参考図書	F	記成検査	査の多	実務、	実習ノート						
	回数				授業	項目・内	 容			授業外学修	指示
	1~8	目視によ	よる検査	查 現	 車と自動車検査	証の記載	事項との同一性	生の確認		実習ノートの該	当範囲を事前に読
	0~12	日担に	- ス ☆ 2	本 珥i	車検査「エンジン	川一/ 内	「ボデー用い」		でおくこと。 テキストおよび!	実習ノートの該	当範囲を事前に読
	13~		-				」「ハノ一向り」		でおくこと。	実習ノートの該:	当範囲を事前に読
	15	目視によ	「る検査	査 現	車検査「車室内	リト回り」			でおくこと。		当範囲を事前に読
	16~ 25	検査機器	器による	る検査	「サイドスリッ	プテスタ」「	ブレーキテスタ	J	でおくこと。		
	26~ 37	検査機器	器による	る検査	「スピードメー	タテスタ」「	ヘッドライトテス	スタ 」	でおくこと。		当範囲を事前に読
	38~ 46	検査機器	器による	る検査	「音量計」「CO)・HCテスタ	<i>z</i>]		テキストおよび? でおくこと。	実習ノートの該	当範囲を事前に読
	47~ 56	検査機器	器による	る検査	「黒煙測定器		ータ」		テキストおよび	実習ノートの該	当範囲を事前に読
授業計画	57~		器により	り測定	 した測定値の指	f定整備記:	 録簿への記入		テキストおよび	実習ノートの該	当範囲を事前に読
	58 59~								でおくこと。 テキストおよび	実習ノートの該	当範囲を事前に読
	60	快宜機都	たで測!	正でさ	ない場合の検査	置と指定登	偏記球溥への	記入 	でおくこと。		
	\vdash										
	実習	冒への利	責極乽	多加)	経技テスト(3) 以上を下記 「覧に則り行	の観点・			そして・出席回	回数∙意欲度	合(発言•質問
評価方法					 	語情報	知的技能	運動技能	態度•意欲	 その他	評価割合
肝臓刀法	7.7	筆認テス	マト(学	车量7。		口口日刊	MUJIZ HE	運動投 能	芯尺⁻怎认	くの他	40%
	1/1		習レオ						0		40%
									_		
			平常	占	l				0		20%